

## SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 1 月 26 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
PUSHセミナー（救命講習）の普及を図ることで、「救命のこころ」を育み、地域の救命率向上に貢献する			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
当協会の主な活動は、胸骨圧迫の方法とAEDの使い方を短時間（45分）で学ぶことができる「PUSHセミナー」である。このセミナーでは、子どもからシニアまで幅広い年代の受講者が、ひとりに1つの専用の教材「あっぱくん」を使ってDVDを見ながら実習形式で学ぶことができる。今後は、PUSHインストラクターの育成にも力を入れて、インストラクターを中心にしたコア組織による、各地区での地域密着型の活動を目指していく。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022 年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023 年12月31日までの取組目標
	前年よりも、開催回数・参加人数は約2倍となったが、コロナの影響が続いているため、リモート講習も積極的に取り入れて参加人数200人超を目指す。	病院、小学校（教員）、スポーツ団体の対面講習に加えて、毎月定期開催による「救命教室」を開催した。開催回数9回で参加総数72名。（2020年開催回数7回、参加総数102名、2021年開催回数13回、参加総数198名）前年よりも開催回数と参加人数は減ったが、6名までの少人数制の定期開催は、教室後に話しをする時間をとれるため有意義であった。	参加人数の増加も必要であるが、少人数制で身近に感じられる「質」を求めた救命教室の開催を継続していきたい。また、障がい者を対象にした救命教室の開催にも挑戦したい。
	前年よりも、開催回数・参加人数は約2倍となったが、コロナの影響が続いているため、リモート講習も積極的に取り入れて参加人数200人超を目指す。	病院、小学校（教員）、スポーツ団体の対面講習に加えて、毎月定期開催による「救命教室」を開催した。開催回数9回で参加総数72名。（2020年開催回数7回、参加総数102名、2021年開催回数13回、参加総数198名）前年よりも開催回数と参加人数は減ったが、6名までの少人数制の定期開催は、教室後に話しをする時間をとれるため有意義であった。	参加人数の増加も必要であるが、少人数制で身近に感じられる「質」を求めた救命教室の開催を継続していきたい。また、障がい者を対象にした救命教室の開催にも挑戦したい。
	①前年よりも、開催回数・参加人数は約2倍となったが、コロナの影響が続いているため、リモート講習も積極的に取り入れて参加人数200人超を目指す。②夏休みの自由研究になるような救命教室の開催。	①病院、小学校（教員）、スポーツ団体の対面講習に加えて、毎月定期開催による「救命教室」を開催した。開催回数9回で参加総数72名。（2020年開催回数7回、参加総数102名、2021年開催回数13回、参加総数198名）前年よりも開催回数と参加人数は減ったが、6名までの少人数制の定期開催は、教室後に話しをする時間をとれるため有意義であった。②チラシ作成はできなかったが、夏休みの自由研究の題材にできるように工夫をした。	参加人数の増加も必要であるが、少人数制で身近に感じられる「質」を求めた救命教室の開催を継続していきたい。また、障がい者を対象にした救命教室の開催にも挑戦したい。また、昨年に引き続き、夏休みの自由研究の題材の提供をしていく。

（記載上の注意）

- 1 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	静岡救命サポート協会	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業 種	1 2. 医療、福祉	
3	従業員（構成員）数	7名	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表理事
		氏 名	増田 功雄
5	所 在 地	〒 420-0949	
		静岡市葵区与一五丁目21-28-3	
6	ホームページURL	<a href="https://shizuoka-cpr.jimdofree.com/">https://shizuoka-cpr.jimdofree.com/</a>	